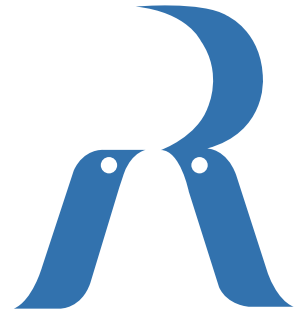


静岡ろうきんの現況 半期DISCLOSURE



2018

2018.4.1~2018.9.30

静岡県労働金庫

当金庫は、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関として、皆様からの信頼にお応えするために健全経営に努めています。本ディスクロージャーは、直近の経営内容を多くの皆様に知っていただくために、2018年9月末時点の経営情報を取りまとめ、自主的にご報告するものです。

金額・比率の表示方法のご案内

- 各表に表示した金額単位未満の端数を切り捨てて記載しています(ただし、「金融再生法ベースの資産査定状況」については、金額単位未満を四捨五入しています)。
- 各表に表示した諸比率は小数点第3位を切り捨てて第2位までを記載しています。
- 小計・合計等の合算は、円単位まで算出し、金額単位未満を切り捨てて記載しています。したがって、内訳の合計と小計欄・合計欄の金額が一致しない場合があります。
- 金額・比率とも該当数値がない場合は「—」、該当数値はあるものの表示単位に満たない場合は「0」で表示しています。
- 当金庫では、9月期決算は法定されていないため、会計監査人の監査を受けておりません。表示の計算値等は、内部規程に基づき3月期決算に準じて算出しています。

▶2018年度上半期事業概況



◆静岡ろうきんの概況(2018年9月末)

■本店所在地	静岡市葵区黒金町5番地の1	■常勤従業員数	743人
■創立	1953年3月1日	■団体会員数	2,438会員
■出資金	38億円	■間接構成員数	555,585人
■店舗数	27店舗 ※インターネット静岡支店を含みます。		

◆預金・融資・預かり資産の状況

●預金

預金残高は、2018年度期首から446億37百万円増加し、1兆875億21百万円となりました。年間増加額目標110億円に対し、405.79%の達成状況となっています。

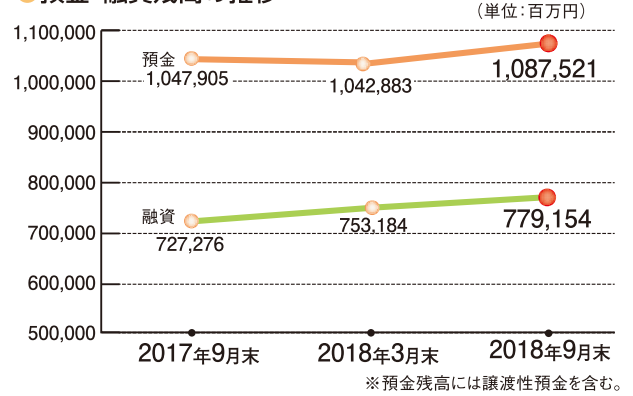
●預かり資産

預かり資産(国債・投資信託)は、2018年度期首から16億55百万円増加し、残高411億29百万円となりました。年間増加額目標27億円に対し、61.29%の達成状況となっています。

●融資

融資残高は、2018年度期首から259億70百万円増加し、7,791億54百万円となりました。年間増加額目標300億円に対し、86.56%の達成状況となっています。

●預金・融資残高の推移



◆損益の状況

2018年9月末の当期純利益は

10億32百万円

(前年同期9億97百万円)となりました。

(単位:百万円)

	2017年9月末	2018年9月末	増減
業務純益	1,385	1,454	68
経常利益	1,328	1,383	55
当期純利益	997	1,032	35

◆貸借対照表

(単位:百万円)

科目	2017年9月末	2018年9月末	科目	2017年9月末	2018年9月末
(資産の部)			(負債の部)		
現金	7,037	7,879	預金積金	1,026,398	1,064,849
預け金	343,362	373,668	普通預金	309,201	329,111
有価証券	139,294	143,081	定期預金	716,216	734,793
貸出金	727,276	779,154	定期積金	—	—
手形貸付	9,528	11,079	その他の預金	981	944
証書貸付	709,372	759,315	譲渡性預金	21,506	22,672
当座貸越	8,374	8,759	借入金	98,474	145,212
その他資産	9,389	9,568	その他負債	2,888	2,908
有形固定資産	7,312	6,981	代理業務勘定	—	—
無形固定資産	8	13	賞与引当金	411	398
前払年金費用	42	92	退職給付引当金	3,931	3,822
繰延税金資産	864	1,003	役員退職慰労引当金	67	44
債務保証見返	2,084	1,746	その他の引当金	232	351
貸倒引当金	△82	△87	債務保証	2,084	1,746
(うち個別貸倒引当金)	△0	△0	負債の部合計	1,155,995	1,242,006
			(純資産の部)		
			出資金	3,881	3,879
			利益剰余金	74,428	75,386
			処分未済持分	△0	△0
			会員勘定合計	78,310	79,265
			その他有価証券評価差額金	2,881	2,160
			繰延ヘッジ損益	△597	△330
			評価・換算差額等合計	2,284	1,830
			純資産の部合計	80,594	81,095
資産の部合計	1,236,590	1,323,102	負債及び純資産の部合計	1,236,590	1,323,102

◆損益計算書

(単位:百万円)

科目	2017年4月1日から 2017年9月30日まで	2018年4月1日から 2018年9月30日まで
経常収益	7,949	7,958
資金運用収益	6,782	6,851
役務取引等収益	425	412
その他業務収益	741	694
その他経常収益	0	0
経常費用	6,621	6,574
資金調達費用	331	306
役務取引等費用	1,281	1,384
その他業務費用	23	5
経費	4,982	4,872
その他経常費用	2	6
経常利益	1,328	1,383
特別利益	—	—
特別損失	1	1
税引前当期純利益	1,326	1,381
法人税、住民税及び事業税	346	389
法人税等調整額	△16	△40
当期純利益	997	1,032



◆自己資本比率の状況

			(単位:百万円)	
自己資本の構成に関する主な開示事項			2018年3月末	2018年9月末 (概算値)
コア資本に係る基礎項目の額 (経過措置による算入額)	(イ)		78,318 (-)	79,352 (-)
コア資本に係る調整項目の額 (経過措置による不算入額)	(ロ)		32 (8)	41 (10)
自己資本の額(イ)-(ロ)	(ハ)		78,285	79,311
リスク・アセット等の額の合計額 (経過措置による算入額)	(ニ)		604,789 (△6,320)	635,636 (△5,112)
自己資本比率(国内基準)	(ハ) / (ニ)		12.94%	12.47%

			(単位:百万円)	
定量的な開示事項			2018年3月末	2018年9月末 (概算値)
信用リスクに対する所要自己資本の額			23,317	24,551
オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額			874	874
単体総所要自己資本額等			24,191	25,425

当金庫の自己資本比率は2018年9月末現在

12.47% となっており、

国内基準の最低所要自己資本比率である4%を大きく上回る水準を維持しています。

(注)

・左表2018年9月末時点の自己資本比率は、内部規程に基づき3月末本決算に準じて算出した概算値です。
・2014年3月末よりパーセルIIIを適用した自己資本比率規制告示(平成18年金融庁・厚生労働省告示第7号、最終改正:平成26年3月28日)に示された基準により計算しています。

◆債権管理の状況

総貸出金に占めるリスク管理債権額の割合は、0.33%となっています。またリスク管理債権に対しては、担保や保証機関の保証、貸倒引当金を引き当てることにより債権保全を図っています。

●リスク管理債権の状況

				(単位:百万円)		
				2017年9月末	2018年3月末	2018年9月末
破綻先債権				281	250	168
延滞債権				2,160	2,341	2,371
3か月以上延滞債権				55	46	38
貸出条件緩和債権				—	—	—
合計				2,497	2,639	2,578
総貸出金残高				727,276	753,184	779,154
総貸出金に占める割合				0.34%	0.35%	0.33%

●金融再生法ベースの資産査定状況

				(単位:百万円)		
				2017年9月末	2018年3月末	2018年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権				871	900	824
危険債権				1,571	1,692	1,715
要管理債権 (小計)				55	47	38
				(2,497)	(2,639)	(2,578)
正常債権				727,589	753,185	779,061
合計				730,087	755,824	781,640

(注)「リスク管理債権」では貸出金のみを対象債権としていますが、「金融再生法ベース」では貸出金のほか債務保証見返や与信関係未収利息、仮払金なども対象としています。

用語解説

【リスク管理債権】何らかの理由により、返済されない等の貸出金債権のことで、「破綻先債権」、「延滞債権」、「3か月以上延滞債権」、「貸出条件緩和債権」があります。

【破綻先債権】借り手の自己破産などにより、当金庫が返済を受けることが困難になる可能性が高い貸出金のことです。

【延滞債権】今後、上記の「破綻先債権」となる可能性が大きい貸出金、あるいは法的・形式的な破産の事実が発生していないものの、実質的には自己破産の状態に陥っている借り手の貸出金のことです。

【3か月以上延滞債権】借り手に収入が入ってこない(会社の業績不振等)などの理由で当金庫が元金または利息の支払いを3か月以上受け取れない貸出金(上記の「破綻先債権」、「延滞債権」を除く)のことで、

【貸出条件緩和債権】貸出金利の減免や利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄など、借り手に有利となる取決めを行っている貸出金(上記の「破綻先債権」、「延滞債権」および「3か月以上延滞債権」を除く)のことで(ただし、借り手に有利な条件であっても、再建・支援目的でなければ「貸出条件緩和債権」には該当しません)。

【破産更生債権及びこれらに準ずる債権】総与信額のうち、破産、会社更生、再生手続などの事由により経営破綻に陥っている借り手に対する債権およびこれらに準ずる債権のことで、

【危険債権】総与信額のうち、借り手が経営破綻の状況には至っていないものの、財政状態・経営成績が悪化して契約に従った債権の元本の回収と利息の受取りができない可能性が高い債権のことで、

【要管理債権】貸出金のうち、上記の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」と「危険債権」を除いた「3か月以上延滞債権」と「貸出条件緩和債権」の合計額のことです。

【正常債権】総与信額のうち、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」および「要管理債権」を除いたもので、借り手の財政状態および経営成績に特段の問題がない債権のことです。

◆有価証券の時価情報

●売買目的有価証券

保有しておりません。

●満期保有目的の債券

保有しておりません。

●子会社・子法人等株式及び関連法人等株式

保有しておりません。

●その他有価証券

種類	2017年9月末			2018年3月末			2018年9月末		
	貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
債券	137,537	133,557	3,979	140,891	136,840	4,052	140,113	137,116	2,996
国債	23,969	23,037	931	24,705	23,818	887	25,375	24,674	701
地方債	28,126	27,039	1,086	28,233	27,169	1,063	28,936	28,115	821
社債	85,441	83,480	1,961	87,953	85,853	2,100	85,800	84,326	1,473
その他	1,750	1,765	△15	1,469	1,485	△16	2,961	2,986	△24
合計	139,287	135,323	3,964	142,362	138,326	4,035	143,074	140,102	2,971

(注)○貸借対照表計上額は、2018年9月末における市場価格等に基づく時価により計上したものです。

○社債には、政府保証債、公社公団債、金融債、事業債が含まれます。

○時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

●時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の主な内容および貸借対照表計上額 (単位:百万円)

種類	2017年9月末	2018年3月末	2018年9月末
	貸借対照表計上額	貸借対照表計上額	貸借対照表計上額
子会社・子法人等株式	—	—	—
関連法人等株式	—	—	—
非上場株式	6	6	6
合計	6	6	6



お預かりした預金を融資としてご利用いただくまでの間、その一部を余裕資金として有価証券等で運用しています。運用にあたっては、安全性を最優先し、収益性と流動性にも留意しています。

TOPICS

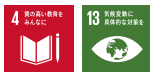
CSR「共生社会の実現に向けた取組み」

※Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任

〈静岡ろうきん〉は「ろうきんの理念」の実践を通じて、人々が喜びを持って共生できる持続可能な地域社会の実現に向けて様々な活動を行っています。以下に2018年度上期の主な活動をご紹介します。

■ 環境への取組み

●「環境保護に役立宣言」



8月29日、静岡県地球温暖化防止活動推進センターへ、お客様にご契約いただいた対象ローン1件につき50円で算出した669,400円(2009年度からの累計約839万円)を寄付しました。寄付金は静岡県内の地球温暖化対策事業への支援活動や、小学生を対象とした環境教育事業「アース・キッズチャレンジ」などに活用されています。

■ 地域への貢献活動

● 地域社会で活躍する団体への支援



2015年度よりポイントアッププレゼント制度を通じたお客様の直接参加による寄付を実施しています。

お客様の寄付ポイントに〈ろうきん〉からの拠出金を合わせて二団体へ寄付しました。

寄付先	2015年度からの累計寄付額 (うちろうきん)拠出分)
認定NPO法人フードバンクふじのくに	2,241,016円 (1,067,316円)
公益財団法人静岡県グリーンバンク	769,983円 (365,783円)

●「車いすシート」の無料提供



障がいを持つ方に地域スポーツを楽しんでいただくため、クラブスポンサーとして清水エスパルスと協同し、ホームゲームに毎試合5組分の「車いすシート」を無料で提供しています。

〈静岡ろうきん〉 CSRの5つの柱



「環境保護に役立宣言」寄付金贈呈式



「認定NPO法人フードバンクふじのくに」への寄付金贈呈式

SDGs (Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標)

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までに達成を目指す国際目標です。貧困、気候変動などさまざまな課題を解決し「持続可能」な世界を実現するため17の目標が定められています。この目標達成に向けて、政府だけでなく、自治体や企業、諸団体、個人一人ひとりに役割があり、それぞれが協力・連携することが求められています。

〈静岡ろうきん〉は協同組織の福祉金融機関として、働く人の生活向上に資する事業の実践を通じてSDGsの実現を目指しています。



静岡ろうきん 半期ディスクロージャー

2018年11月
発行：静岡県労働金庫
〒420-0851 静岡市葵区黒金町5番地の1
TEL (054) 221-6100



この冊子は環境にやさしい
植物油インキを使用しています。

スマートフォン・モバイル
でアクセス

スマートフォン
<http://shizuoka.rokin.or.jp/sp/>

モバイル
<http://shizuoka.rokin.or.jp/mobile/>

いつもあなたの目線で。

静岡ろうきん

ビバ de ろうきん 携帯電話からでもOK!

フリーダイヤル 平日 9:00~18:00
0120-609-123

インターネットホームページ
<http://shizuoka.rokin.or.jp>